

市町村名	北大東村
------	------

平成25年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	4-	北大東村複合型福祉施設整備事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ 生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上
担当部署名	企画財政課	事業実施(予定)年度	平成25年度	沖縄振興基本方針該当箇所 -9

事業内容
本村は、地理的条件や小規模人口の自治体という社会的条件等が相まって、福祉サービスの基盤整備が立ち遅れ、高齢者の福祉サービス等を村外に依存せざるを得ず、島を離れる状況が増加している。そこで、住み慣れた地域の中で安心して暮らしていく事が出来るように、複合型福祉施設を整備する。

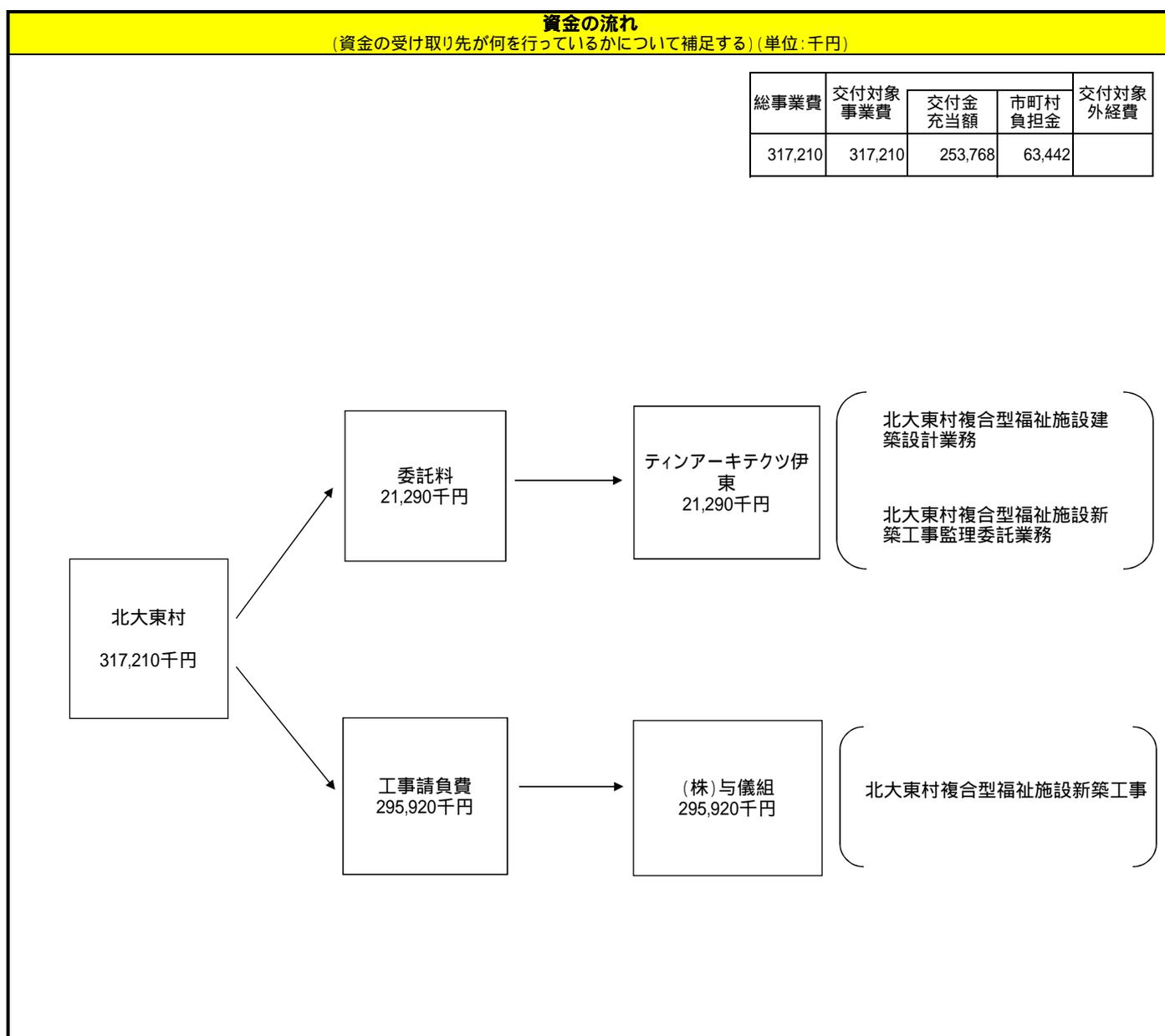
実施方法
直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		25年度	25年度(繰越)	26年度	27年度	28年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況					
	(a)当初予算額	320,141	-			
	(b)予算現額	320,141	-			
	(c)増減額(b-a)	0	-			
	(d)繰越額	-	304,391			
	A.計(b+d)	320,141	304,391			
	B.執行済額	15,750	301,460			
	うち交付金充当額	12,600	241,168			
	次年度繰越額	304,391	0			
	執行率(%) (B/A)	4.9%	99.0%			
予算の状況の説明	高齢者・入所要望者等からの配置変更・設置案の要望があり、その調整及び基本計画の変更(単面入れ替え・面積・建物の配置等)に不測の日数を要した為、304,391千円を平成26年度へ繰越した。					

活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)	達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度
		福祉施設設計監理・工事の完了	目標 (1棟)	()	()	()
	実績	1棟				
	目標	()	()	()	()	
	実績					
達成状況説明	住み慣れた地域の中で、自立生活を営み、日常生活上の安全・健康・安心して暮らしていけるよう福祉基盤整備に向け、複合型福祉施設整備を行った。					

成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)	基準値(23年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)	
		福祉施設設計監理・工事の完了	目標 (0回)	(1棟)	()	()	()
			実績	1棟			
			目標	()	()	()	()
	実績						
進捗状況説明	住み慣れた地域の中で、自立生活を営み、日常生活上の安全・健康・安心して暮らしていけるよう福祉基盤整備に向け、複合型福祉施設整備を行った。平成27年9月からの利用・運営に向け、社会福祉協議会(福祉・介護サービスや高齢者自立生活支援)・預かり保育を実施し、福祉活動・人材育成・福祉力向上を図っている。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>複合型福祉施設整備をしていく中で、入居者選定の基準等が課題となった。(高齢者・単身・入居費) 高齢者の年齢基準・希望者は低所得でも入居可能か・短期入所の日数基準等 本島並みの費用だと入居希望者は限られてくるので、基準を下げて補填分を村全体で負担する要望があった。</p>	<p>複合型福祉施設を整備後、平成27年9月から稼働予定。施設利用希望者も多く、人材育成・確保に向け、2人の雇用成果があった。一方で、長期入居や低所得者への待遇・ニーズもあり、入居費の低基準措置や人材確保・育成に努め、今後の定住化に向け財政支援にも取り組む必要がある。</p>
今後の取り組み方針		
<p>今後の取組として低所得者向けの入居費や短期・長期入所等にも対応できるよう低額基準を設け、人材の確保・育成等雇用状況も見ながら運営の検討を図り、財政支援を行っていく。地域の福祉力向上と定住化促進へ繋げていく。</p>		



資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	<p>費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。</p> <p>予算規模については、適正な規模であったと考えている。委託業者・工事請負業者は指名入札方式により適正に選定しており、妥当であった。</p>
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	北大東村
------	------

平成25年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	5-	北大東養殖産地協議会養殖事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-イ
担当部課名	企画財政課	事業実施(予定)年度	平成25年度	沖縄振興基本方針該当箇所
				農林水産業の振興
				-9

事業内容
離島である北大東村では、水産業において他の地域との差別化を図る為、水質管理に負担が少なく、且つ安全に成長を促進させる『パイオ技術を用いて海水をろ過する陸上養殖システム』での養殖事業確立と継続的養殖研究に向けて施設設置の取組を実施する。

実施方法
直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		25年度	25年度(繰越)	26年度	27年度	28年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況					
	(a)当初予算額	359,644	-			
	(b)予算現額	359,644	-			
	(c)増減額(b-a)	0	-			
	(d)繰越額	-	343,159			
	A.計(b+d)	359,644	343,159			
	B.執行済額	16,485	339,552			
	うち交付金充当額	13,188	271,641			
	次年度繰越額	343,159	0			
	執行率(%) (B/A)	4.6%	98.9%			
予算の状況の説明	・住民・設置管理(産地協議会)予定者等からの配置変更・設置案の要望があり、その調整及び基本計画の変更(面積・建物の配置等)に不測の日数を要した為、343,159千円を平成26年度へ繰越した。					

活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)	達成状況			
		25年度	26年度	27年度	28年度
		陸上養殖施設の施工監理・工事の完了	目標 (施工監理・工事の完了)	()	()
	実績	1棟の施工監理・工事の完了			
	目標	()	()	()	()
	実績				
達成状況説明	周囲を断崖に囲まれている北大東島での完全陸上養殖は、水産業の可能性を大きく広げる事業であり、従来の水産従事者の収益向上及び新規雇用を創出する新たな水産業基盤を構築した。				

成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)	基準値(23年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)	
		陸上養殖施設の施工監理・工事の完了	目標 (0回)	(施工監理・工事の完了)	()	()	()
			実績	施工監理・工事の完了			
		[参考指標]	目標	()	()	()	()
	実績						
進捗状況説明	他の地域との差別化を図る為、オリジナリティ追及やブランドの構築に向け、開発研究を継続。完全陸上養殖による水質管理(浄化)コストの低減化・生産量増・拡大を図り、平成27年内の出荷に向けて、取り組んでいる。同年7月には、併設して稚魚孵化施設も完成予定。(本土からの稚魚購入経費・輸送コスト・稚魚移動負担の低減化に繋がる。)						

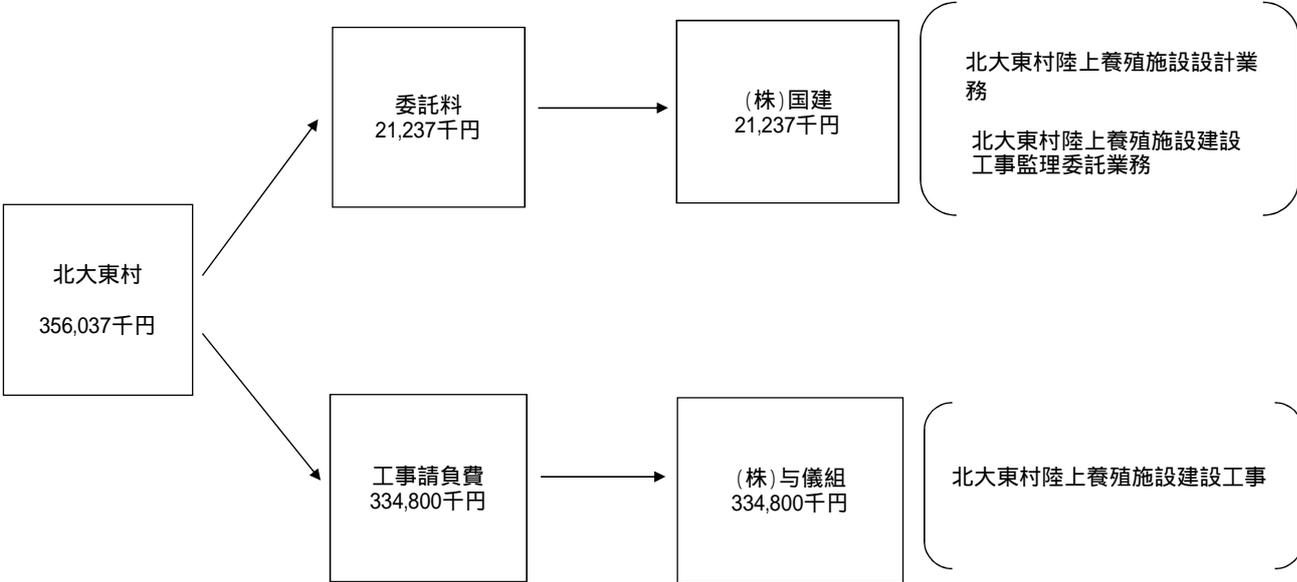
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	陸上養殖施設を整備していく中で、海上養殖事業が不可能な中、陸上養殖の技術や雇用等が課題となった。(水質管理・輸送コスト) 約3年間の養殖研究成果を活かし、島内での低コストでの供給。販路の確保。雇用の創出。補填分を村全体(産地協議会)で負担する要望があった。	旧村営プール跡地を有効利用し、『バイオ技術を用いて海水をろ過する養殖システム』を導入したことによって、専門知識が無くても水質管理・完全陸上養殖が可能になる。水質管理業務負担が少ない為、並行して稚魚孵化施設管理・育成・飼料配合の研究が継続的に可能となる。

今後の取り組み方針

陸上養殖施設が整備され稼働する事により、施設雇用者の創出と養殖生産量(アワビ・ウニ・ヒラメ・ハタ類)の増加。完全陸上養殖の販売システム(産卵・孵化・養殖・販売)を開発し、他の離島地域でも実施可能なモデル構築に取り組む。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
356,037	356,037	284,829	71,208	



資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。 予算規模については、適正な規模であったと考えている。 委託業者・工事請負業者は指名入札方式により適正に選定しており、妥当であった。
		予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		